



体験を重ね、自然や人と心豊かに過ごす

1年生のアサガオが咲き始め、2年生のミニトマトの実が赤くなってきました。曇りや雨の日も多いですが、晴れるとじりじりと暑さを感じます。学校では、何度もWBGT値(熱中症指数)を確認し、必要に応じて水分補給などの注意喚起をしながら教育活動を進めています。この頃は、マスクを外して登下校する子がほとんどです。喜怒哀楽の表情がよくわかり、様子に応じて声掛けができるようになってきました。

さて、6月は、県立鴨川青少年自然の家にて、6年生の農山村留学(2泊3日)がありました。海風が涼しくトンビが空から迎えてくれました。子供達は、カッター体験や磯遊びを夢中になって楽しんでいました。最後の夜のキャンプファイヤーでは、自分を開放し思い切り楽しむ様子が見られ、空にはストロベリームーンといわれる赤い月が顔を出し、夜を盛り上げてくれました。家族と離れ、同じ屋根の下で寝て、同じものを食べ、同じ風を感じるという共通の体験をすることで、友達同士のつながりもぐっと近づいたことと思います。これから、ともに歳を重ねていくこの仲間をこれからも大切にしてほしいと思いました。自然体験を通して体力が付き、心身ともに健康になったように思います。小学校生活最後の年に、このような経験ができたことは貴重なことであり、ご家族や地域の皆様にご協力いただいたおかげと感謝しております。ご協力を賜り、真にありがとうございました。



農山村留学カッター体験の様子(6年生)

また、4年ぶりに音楽発表会が開催されました。美浜文化ホールにて、磯辺、打瀬、真砂の8校が集まり、互いの練習の成果を発表し聴き合いました。本校は、3年2組が代表として参加し、リズムアンサンブルや歌唱を披露し、他校の3・4年生の発表を聴いて、音楽の楽しさを味わうことができました。このように、いろいろな行事が可能となり子供達に色々な経験をさせてあげることができるようになり嬉しく思います。



♪ 音楽発表会の様子(3年生) ♪

そして、まもなく44日間の夏休みとなります。夏休みは、自分で時間を管理して計画を立てて過ごすことができる貴重な経験ができます。心を開放して楽しんだり、何かに夢中になったりして、豊かな心を育ててほしいと思います。地域の方々との協議会で推進していきたいことのひとつに、「地域の人々と進んで挨拶を交わし、つながりを強化していこう」があります。夏休みは、家庭や地域で過ごす時間が増えます。お子様も保護者様も進んで地域の方々へ挨拶をしたり地域の行事に参加したりしてつながりを強化し、子供たちの心の「ふるさと」をつくってまいりましょう。

また、夏休み中の事故からお子様を守るため、「危険を察知して回避する能力」を身に付けてほしいと思います。まずは、「宇宙に一つのかげがえのない命」であることを、お子様に自覚させてあげてください。そして、「危険な行為をしない」などの意識を高めていきましょう。長期休みの期間を、命を大切に心豊かに過ごしてください。

夏休み明けの登校日に、元気な笑顔が見られるのを楽しみにしています。

